

恵みの上にさらに恵みを受けて、  
恵みにわたしたちの内側で御座に着いていただくのは、  
わたしたちが命の中で王として支配して、  
神の詩、すなわち新エルサレムとなって、  
神のエコノミーにおける神の恵みの  
終極的で究極的な産物となるためである

聖書：ローマ 5:17, 21. ヨハネ 1:16. ヘブル 4:16. 創 6:8. 啓 22:21

- I. わたしたちは、日ごとにまた瞬間ごとに、主を恵みの上のさらなる恵みとして、またあふれるばかりの恵みとして受けて、享受する者たちとなる必要があります。それは、恵みがわたしたちの中で王として支配して、わたしたちが命の中で王として支配するためです——ヨハネ 1:16. ローマ 5:17, 21 :
- A. 「ですから、わたしたちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか」——ヘブル 4:16 :
1. 疑いもなく、ここで述べられている御座は、天にある神の御座です（啓 4:2）。神の御座は全宇宙に対しては、権威の御座です（ダニエル 7:9. 啓 5:1）。しかし、わたしたち信者に対しては、それは恵みの御座となり、それは至聖所の中にある罪を覆う蓋（あわれみの座）で表徴されています（出 25:17, 21. 詩 80:1）。この御座は、神と小羊の御座です（啓 22:1）。
  2. わたしたちは今、まだ地上に生きているのに、どのようにして天にある、神と小羊（キリスト）の御座に来ることができるのでしょうか？ その秘訣は、ヘブル第 4 章 12 節で言われているわたしたちの霊です。天の御座に座しているキリスト（ローマ 8:34）は、今やわたしたちの中に（10 節）、すなわち、神の住まいがある（エペソ 2:22）わたしたちの霊の中（Ⅱテモテ 4:22）にもいます。
  3. 神の家、神の住まいであるベテル、すなわち天の門で、キリストは地を天に結び付け、天を地にもたらすはしごです（創 28:12-17. ヨハネ 1:51）。わたしたちの霊は今日、神の住まいのある所ですから、今や天の門であり、そこでキリストは、わたしたち地上の民を天に結び付け、天をわたしたちにもたらすはしごです。ですから、わたしたちが霊に戻る時はいつでも、天の門を通して入り、天のはしごとしてのキリストを通して、天における恵みの御座に触れるのです。
- B. 主ご自身が栄光の御座また恵みの御座です（イザヤ 22:23. ヘブル 4:16）。わたしたちが恵みにわたしたちの中で王として支配していただくとき、恵みはわたしたちの内側で御座に着いて、神の支配する臨在となり、わたしたちの享受と

なります (エゼキエル 1:22, 26)。それは、わたしたちが命の中で王として支配するためです (ローマ 5:17, 21)。

II. 創世記の記録の主要な目的は、墮落を見せることではなく、墮落した人のために、神の恵みがどれほど多く行なうことができるかを見せることです：

A. 神は、ノアが生きていた腐敗した時代の真の状況を彼に示しました——創 6:3, 5, 11, 13. マタイ 24:37-39. IIテモテ 3:1-3：

1. 人は最終的に、完全に肉となってしまう程度にまで墮落してしまいました (創 6:3)。神の最も強力な最も邪悪な敵はわたしたちの肉です。それは徹底的に、また完全に神によって憎まれています。

2. アマレクは旧約において、肉を予表します。肉は、墮落した古い人の総合計です。アマレクとイスラエルの間の戦いは、信者たちの内側の肉とその霊との衝突を描写しています——出 17:8-16. ガラテヤ 5:16-17：

a. 神がアマレクと絶え間なく戦っているという事実が啓示しているのは、神が肉を憎んでおり、肉を滅ぼすことを願っているということです——出 17:16. ガラテヤ 5:17。

b. 肉は変わることもできませんし、改善されることもできません。こういうわけで、わたしたちは肉が常にわたしたちと共にあるという事実を心にとめる必要があります——ローマ 13:14. ガラテヤ 5:16。

c. 神はサタンを憎むのと同じように、肉を憎んでいます。そして神はサタンを滅ぼすことを欲しているのと同じように、肉を滅ぼすことを欲しています——出 17:16. 申 25:17-19. サムエル上 15:2-3。

d. わたしたちは、とりなすキリストによって、また戦う霊によって、アマレクに敵対して戦います。モーセが山頂で手を挙げることは、昇天したキリストが天でとりなしていることを予表します。ヨシュアがアマレクに敵対して戦うことは、内住する霊が肉に敵対して戦うことを予表します——出 17:9, 11, 13. ローマ 8:34. ヘブル 7:25. ガラテヤ 5:17。

e. アマレクに敵対して戦うとき、わたしたちは祈って、とりなすキリストと一になることによって (ローマ 8:34)、また肉を死に渡し、戦う霊と一になることによって (ルカ 18:1. Iテサロニケ 5:17. ローマ 8:13. ガラテヤ 5:16-17, 24)、主と協力する必要があります。神はアマレクについての記憶を天の下から完全に消し去るまで、継続的に肉に敵対して戦うことを決意しました (出 17:14)。

B. 創世記第 6 章 8 節は言います、「しかし、ノアはエホバの目に恩恵 [恵み] を得た」：

1. 肉はサタンの傑作であり、サタンと罪と死の「集会所」です。恵みは、わたしたちによって享受された神ご自身であり、わたしたちを助けて、肉の状況を対処させます。

2. 肉はサタンの同在そのものであり、恵みは神の臨在そのものです。わたしたちはサタンの同在を対処するために、神の臨在を必要とします。
3. サタンが最善を尽くしてその状況に損害を与えていたとき、神の目に恵みを得た者たちが常にいました。彼らは時代を転換した者たちとなりました  
——参照、ダニエル 1:8. 9:23. 10:11, 19 :
  - a. 恵みとは、神ご自身、神の臨在がわたしたちによって享受されて、わたしたちにとってすべてとなり、またわたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちのためにあらゆることを行なうことです——ヨハネ 1:14, 16-17. 啓 22:21。
  - b. わたしたちの人の霊を活用することを通して、わたしたちは主イエス・キリストの恵みを、三一の神の満ちあふれる供給として享受します——ヘブル 10:29 後半. ガラテヤ 6:18. ピリピ 4:23. ピレモン 25 節. II テモテ 4:22。
  - c. 神の言葉は恵みの言葉です——使徒 20:32. コロサイ 3:16. 参照、エレミヤ 15:16。
  - d. わたしたちは聖徒たちと一の立場で集会するとき、手順を経た三一の神を命の恵みとして経験します——詩 133:3. I ペテロ 3:7. 使徒 4:33. 11:23。
  - e. わたしたちは苦難と試練のただ中で、増し加わる恵み、またすべてに十分な恵みとして主を経験することができます——II コリント 12:9。
  - f. わたしたちは主の恵みの力の中で、主のために労苦する必要があります——I コリント 15:10, 58. 3:10, 12 前半。
  - g. わたしたちは、恵みの力、恵みの強さ、恵みの命によって、神に対して、また互いに対して正しくなることができます。客観的な義は恵みをもたらし、恵みは主観的な義を生み出します——ヘブル 11:7. ローマ 5:17, 21。
- C. 神がノアに与えたのは、すべてを含む啓示、箱船を建造する啓示であり、それは神が、腐敗した世代を終結させ、新しい時代をもたらす道でした。ノアの働きは、時代を変えた働きでした——I コリント 2:9. II コリント 6:1. マタイ 16:18. I コリント 3:12 :
  1. 箱船はキリストの予表であり (I ペテロ 3:20-21)、個人のキリストを予表するだけでなく、団体のキリスト、召会を予表します。それは、キリストのからだ、また新しい人であり、新エルサレムにおいて究極的に完成します (マタイ 16:18. I コリント 12:12. エペソ 2:15-16. コロサイ 3:10-11. 啓 21:2)。
  2. 箱船を建造することは、わたしたちの経験において恵みとしてのキリストを建造することであり、それはキリストのからだとしての、団体のキリスト、召会を建造するためです (I コリント 12:12. エペソ 4:11-16)。この事は自分自身の救いを成し遂げることです。そうしてわたしたちは、この曲がったよこしまな世代に対する神の裁きから救われて、新しい時代、すなわち千年期の時代の中へともたらされます (ピリピ 2:12-16. ヘブル 11:7. マタイ 24:37-39)。

ルカ 17:26-27)。

- Ⅲ. 神のエコノミーにおける神の恵みの究極的で終極的な産物は、神の詩としてのキリストのからだであり、それは新エルサレムとなり、新しい天と新しい地における神の義の究極的完成となります。神ご自身の豊富は、わたしたちの享受となり、あらゆる制限を超越し、公に展覧されて永遠に至ります——エペソ 2:7-10. II ペテロ 3:13. 啓 22:21。

© 2022 *Living Stream Ministry*